



写真提供・山本敏夫氏一

# “20年で本当に変わった” “創立以来の発展を感じることができた”

## 組合員・職員交流集会・事業所見学会より

# さるかどした

八戸医療生活協同組合  
〒031-0001  
八戸市類家5丁目38-20  
発行責任者 内田弘志  
Tel.0178-71-3456

「医療生協の活動をよく知って、組合員増やしや出資金増やしの取り組みに活かそう」と、生協強化月間(10月～12月)の中で「事業所見学会」(11月14日、15日)と組合員・職員活動交流集会(11月26日)を開催しました。「今後も続けてほしい」と大変好評でした。

### 「」でお世話になりたいと思った

事業所・施設見学会には8 医療生協ならではの医療と支部から18名参加しました と介護の取り組みに驚いた。参加した組合員からは との声も聞かれました。



### 八戸医療生協の事業所・施設

各事業所の住所、電話等は「さるかどした」封入の封筒をご覧ください。

生協診療所
訪問看護ステーション
通所リハビリテーション
ディサービス「さるかどした」
小規模多機能「みなみるいけの家」
ヘルパーステーション
居宅介護支援事業所Ⅰ(要介護3以上)
居宅介護支援事業所Ⅱ(要介護2以下)
生活相談室(医療・福祉等 診療所内)
組合センター(生協本部機能)

### 組合員・職員活動交流集会

### 知らない事をたくさん聞けた 遠い地域での組合員増やしをどうやって

柏崎公民館での組合員・職員の活動についてスライド活動交流集会には15支部、ドや模造紙に書いた絵、図から39名、職員26名参加しま 表などを使って説明がありました。職員からそれぞれの事、話し合いに入りました。



- ◇診療所あと一か所ほしい。
- ◇上十三地区への事業展開も検討してほしい
- ◇事業所からの報告がともよかった。知らない事をたくさん聞けた。
- ◇診療所から遠い地域はなかなか利用できない。事業所を増やすことも簡単ではない。その中で組合員増やしをどうやっていったらよいか検討してほしい
- ◇送迎のバス運行を「現状は困難」とせず議論していく必要があるのではないか。
- ◇生活相談員の親切な対応はとても良い。相談の場所を検討してほしい



◇職員の仕事ぶりやいろいろな取り組みについて学ぶことができた。職員が生き生きと働いていることが一番うれい。大変ななかで頑張っている。



### みなみるいけの家 市の福祉避難所として登録

八戸市は、地震や津波など災害発生時に介護・介助の必要な高齢者など要援護者が避難できる「福祉避難所」を開設し、医療生協の小規模多機能「みなみるいけの家」も市と締結しました。



### 虹の旗

国会では社会保障と税制の一体改革(改憲)の論議がおこなわれている。野田首相は「不

退転の決意」で年末までにまとめたと言っている。さるかどした「発行の頃には政府・与野党ができてくるのかもしれない。問題はその中身だ。政府は「持続可能な社会保障制度」と強調するが、「社会保障の充実」とは決して言わない。負担増、給付の削減をしきりに強調し、形ばかりの制度を残そうとしている。このことを見過してはならない。

現在の制度でも不十分なのに、さらに条件を悪くして真の意味で人間的な生活の「持続性」が担保できなくなるのか。政府の発言の裏にある意図を見抜き、憲法25条による「健康で文化的な生活を営むためにも社会保障の充実を求め続けたい。憲法13条は、すべての国民の幸福追求は基本的人権であることを明確にしている。よく聞き、よく見てさらに行動する事が大事では。アメリカ、イタリヤ、ギリシャのように。

(組織委員会 清野)

### 生命の尊さ・健康を守る運動をさらに

理事長 竹本 照彦



昨年の3・11 東日本大震災では海の近くにお住まいの組合員のみなさんが大変な被災に遭われました。改めてお見舞い申し上げます。

私は医師として避難所を廻り地震と津波の甚大さを直接聞くことができました。職員は三人一組で被災された組合員さんの訪問活動に取り組み傍ら、岩手県と

宮城県の被災地に交代で支援に出かけました。また、組合員と職員のみなさんから多くの支援力(ペン)が寄せられ、医療福祉生協連と民医連を通して被災地へ届けました。ご協力に感謝いたします。

被災されたみなさんの一日も早い復興と福島原発事故の収束を願うばかりです。とりわけ私は広島や長崎で被ばくされたみな

さんの診療を続ける医師として「フクシマ」を繰り返してはならないとの思いを強くしています。二〇一二年は、私たちのくらし、医療、介護、福祉などにとって大変重要な年になります。医療報酬と介護報酬の同時改定、「社会保障と税の一体改革」、TPP(環太平洋連携協定)の動向に大いに注視していきましょう。医療生協の原点であるいのちと健康を守る日常の活動を力強く進めましょう。組合員のみなさんのご健勝をお祈りいたします。



ショートステイの機能を持つみなみるいけの家

### 診療所休診日

(毎月最終土曜日)

月	休診日
1月	28日
2月	25日
3月	24日

八戸医療生協現況(2011年11月30日現在) ○組合員総数9,712名 ○出資金総額357,590千円 ○一人当たり出資金36,799円

☆住所の変更がありましたら早めに事務局にお知らせください。組合員の名義変更、家族組合員の追加についても同様をお願いします。

八戸医療生協創立22周年組合員のつどい

組合員のみなさん、いま私たちは、東日本大震災と福島原発事故により、経験したことのない未曾有の課題に直面しています。とりわけ原発事故は、とりかえすことのできない深刻な事態を引き起こしています。創立22周年の日を、「フクシマ」を二度と繰り返さないために原発問題を考える組合員のつどいの日にしました。



◇日時 2012年1月21日(土・創立記念日) 13:30~16:00  
◇場所 八戸パークホテル

◇お話 ~原発は人類と共存できません~

- (1)「原発事故を受けてー福島からの報告」 郡山医療生協専務理事 宮田育治氏
- (2)「放射線の影響ー被爆者診療医師として」 八戸生協診療所所長 竹本照彦氏

※質問の時間を設けます。よくわからないこと、疑問に思っていることなど気軽に質問して下さい。  
※参加費はありません。どなたでも参加できます。会場の収容人数によっては入れないこともあり得ます。支部役員又は本部へ申し込んで下さい。  
※当日はホテルの利用が多く、駐車場が混み合うことが予想されます。できるだけ相乗りを検討して下さい。



「放射線被害から子どもを守る」 竹本所長の講演を地元紙が紹介

竹本照彦所長は、11月10日、日本科学者会議八戸分会(松山力分会長)が福祉公民館で開いた「福島原発事故と放射線被害について」の集いで講師を務め、参加した市民150人に放射線の人体への影響について講演しました。地元紙は翌日の朝刊に写真入りで紹介しました。

線量計を準備しました



福島原発事故による放射性物質が地上に河川に海に広範囲に拡散しています。数値の高い低いはある程度は被ばくが心配されず。放射線の線量計(写真上)を本部に備えました。講習会を開くなど活用について検討しています。

支部・班活動 あらかると



二中支部 11月27日(日)、三八城公民館で支部発足20周年記念を兼ねた第27回ふれあい昼食会を開催。59名が祝舞、大正琴、踊りなど楽しんだ後、初のバイキング食を美味しくいただき、最後はホールいっぱい輪になってナニヤドヤラを踊りました。



一中支部 11月27日(日)、吹上公民館で第8回ふれあい昼食会を55名の参加で開催。診療所の藤村綾子管理栄養士の講話「高齢者におすすめの食事」が大変好評でした。4名の新加入仲間を迎え、15名のみなさんから増資(34000円)がありました。



湊支部くろねこ班 12月2日(金)、鈴木和子さん宅で「おし花作り」班会を8名で開催。「フェルト」や「さきおり」におし花を置き、色々な模様にし、フィルムをアイロンで押して壁かけや色紙にしました。



館支部 11月13日(日)、館公民館で支部総会。12名参加。総会に続き、荒岡英孔専務から「八戸医療生協の今後の展望」のお話を聞いた後、百目木副支部長さんが腕をふるった美味しい料理を味わいながら交流しました。

肺炎球菌ワクチン 助成のお知らせ

八戸市では75歳以上の市民を対象に二千円の助成をしています。ただし、市役所で申請手続きが必要です。生協診療所では、医療生協の組合員は五千円、一般の人は六千円で接種していますが、助成の申し込みをされたみなさんは組合員三千円、一般四千円で接種できます。5年間有効とされています。肺炎で重症化することが少なくありません。詳しいことは生協診療所へ問い合わせください。

電話(44)0278 生協診療所

お餅大好き

◇シリーズ・古玉晟二の辻説法②◇

教員だった父に従って岩手の県南、餅の文化の発達した所で育ったせいなのか、お餅を食べられる正月が大好き。ひと昔前、長女が結婚すると宣言、その相手が餅屋さんと知って、これで一生好きな餅が食べられる、と喜んだらした。

現代は、機械で生産された切餅をオーブンで三分。ふつくと焼きあがり、緊急のカロリー補給にもってこいのすぐれもの。昔は火鉢で「餅は乞食に焼かせ、魚は殿様に焼かせろ」と、父の言。格言を二つ。「餅屋は餅屋」「餅つく力は親から授けられず」。万事、専門家の意見を聞き、熟慮断行、自力本願でゆく。昇り竜の2012年、気合いを込めて飛躍しよう。

震災後の我々、ユーロ諸国の二の舞を踏まないために、ガンパロウ!!

新入職員紹介



田代亜紀子 通所リハ・介護福祉士

小島周子 本部・経理事務

津軽での生活が長く南部に？の事もありますが。そんな時は笑うのが一番。好きな言葉「笑う門には福来る」

国際協同組合年がスタートしました。

協同組合はよりよい社会をめざします!!



2012 国際協同組合年